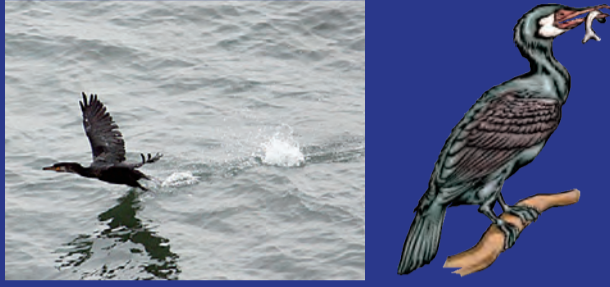


ウミウとは

ウミウは、カツオドリ目ウ科に分類される渡り鳥で、全長80cmほどになります。また、全国各地で開催されている「鶺鴒」で用いられる鳥として知られています。

春には、繁殖のため千島列島や北海道沿岸方面に向かい、秋には、越冬のため本州沿岸や九州方面に向かいます。ここ日立市は、渡りの休憩地点となっており、毎年春と秋には、多くのウミウが飛来します。



ウミウ捕獲

鶺鴒文化を支える伝統の技

茨城県日立市伊師浜海岸



伊師浜海岸でのウミウ捕獲

日立市内にある伊師浜海岸は、日本の白砂青松100選のひとつに数えられ、白い砂浜から20mを超える断崖絶壁まで変化に富んだ海岸線が続きます。この断崖がウミウにとって、格好の休憩地点となります。

ウミウ捕獲は、この伊師浜海岸の断崖約15mの高さに設けられた鳥屋(丸太とコモで作られた小屋)の中で行われます。

ここで捕獲したウミウは、全国に12ヶ所ある鶺鴒地の内、11ヶ所へ供給しており、日立市は、全国で唯一のウミウの捕獲・供給地となっています。

アクセス

- ★鉄道でお越しの方
JR常磐線十王駅下車タクシーで約10分
- ★お車でお越しの方
常磐自動車道日立北ICより約8分

問合せ先

日立市産業経済部観光物産課
〒317-8601 茨城県日立市助川町 1-1-1
TEL: 0294-22-3111(内線406)
FAX: 0294-24-1713
メール: kanko@city.hitachi.lg.jp



2407.

鶺鴒とは

鶺鴒を用いて鮎などの魚を獲る漁法の一つで1300年の歴史を有すると言われています。日本の鶺鴒では、比較的体が大きく、潜水能力が高い「ウミウ」が活用されています。

鶺鴒は全国12ヶ所の川で行われており、その方法は、歩きながら紐をつけたウミウを操る「徒歩鶺鴒(かちうかい)」と、船上から紐をつけたウミウを操る「つなぎ鶺鴒」又は「船鶺鴒」と呼ばれる種類があります。



徒歩鶺鴒(石和鶺鴒)



船鶺鴒(ぎぶ長良川の鶺鴒)

ウミウ捕獲の方法

ウミウ捕獲は、断崖に設置された鳥屋(とや)の中で行われます。鳥屋の外には、5羽程度のおとり用のウミウを繋ぎ、群れを離れて休もうとするウミウや波間で遊ぶウミウがおとりの姿に誘われ、鳥屋の前へ舞い降りたところを「カギ棒」をウミウの足首にかけ、鳥屋内に引き込みます。カギ棒は、篠竹の先端にUの字型に曲げた丈夫な針金を取り付けてあり、ウミウがとまる位置によってその道具の長さを定めるため、長さの異なるカギ棒が作られています。ウミウの捕獲技術(鶺鴒捕りの技術)は、平成4年に日立市(指定当時は十王町)の無形民俗文化財に指定されました。



捕獲のイメージ図



カギ棒



鳥屋内部

ウミウ捕獲の流れ

1 おとりの配置

鳥屋の前に5羽程度おとり用のウミウを繋ぎ、野生のウミウを誘います。



2 ウミウの飛来

おとりのウミウに誘われ野生のウミウが飛来します。ウミウの大きさなどを確認し、捕獲者は鳥屋の中へ移動します。



飛来したウミウ

3 捕獲

飛来したウミウに気づかれないよう、鳥屋と地面の隙間からカギ棒を伸ばし、ウミウを鳥屋内へ引き込みます。



4 各鶺鴒地へ発送

捕獲したウミウは、獣医師によるワクチン接種、検査を行い、10日以上経過観察を経て各地へ発送されます。



ウミウ捕獲の歴史

1300年の歴史を有する鶺鴒同様、ウミウ捕獲にも古い歴史があります。江戸時代に水戸藩郡奉行が記した紀行文の中に、伊師浜での鶺鴒捕りの様子が記されています。当時は、鶺鴒を食糧としたほか、捕獲した鶺鴒を用いて「徒歩鶺鴒」を行っていたとされています。なお、全国の鶺鴒地への供給は、交通網が発達した大正時代以降に行われるようになりました。

鶺鴒かごの製作

ウミウを発送する際に使用する鶺鴒かごは、捕獲者自ら手作りしています。鳥屋を見下ろせる作業小屋で、ウミウの飛来を待ちながら、製作しています。



全国各地の鶺鴒

1 岐阜県岐阜市
～ぎふ長良川の鶺鴒～
問合せ先 岐阜市鶺鴒観覧船事務所
TEL.058-262-0104

2 岐阜県関市
～長良川 小瀬鶺鴒～
問合せ先 関遊船(株)
TEL.0575-22-2506

3 山梨県笛吹市
～笛吹川 石和鶺鴒～
問合せ先 笛吹市観光物産連盟
TEL.055-261-2829

4 京都府京都市
～大堰川 嵐山鶺鴒～
問合せ先 嵐山通船(株)
TEL.075-861-1627

5 広島県三次市
～馬洗川 三次鶺鴒～
問合せ先 (一社) 三次観光推進機構
TEL.0824-63-9268

6 山口県岩国市
～錦川 錦帯橋のう飼～
問合せ先 (一社) 岩国市観光協会鶺鴒事務所
TEL.0827-28-2877

7 福岡県朝倉市
～筑後川鶺鴒～
問合せ先 原鶴温泉旅館協同組合
TEL.0946-62-0001

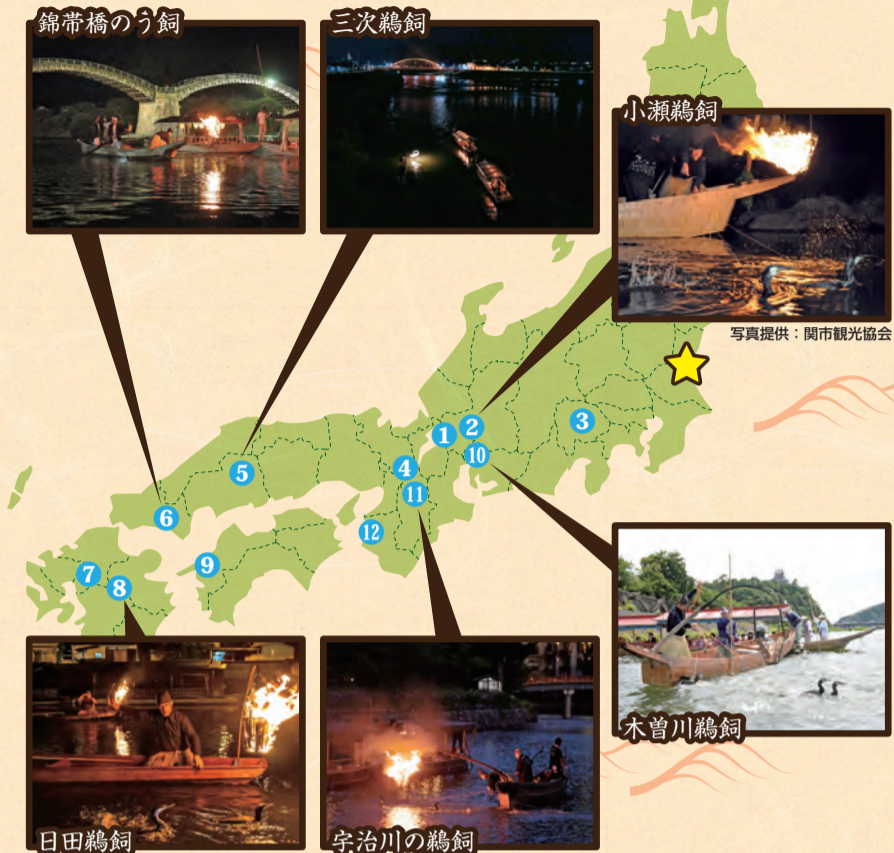
8 大分県日田市
～三隈川 日田鶺鴒～
問合せ先 日田温泉旅館組合
TEL.0973-22-2062

9 愛媛県大洲市
～肱川 大洲観光鶺鴒～
問合せ先 大洲市観光協会
TEL.0893-24-2664

10 愛知県犬山市・岐阜県各務原市
～木曾川鶺鴒～
問合せ先 木曾川観光(株)
TEL.0568-61-2727

11 京都府宇治市
～宇治川の鶺鴒～
問合せ先 (公社) 宇治市観光協会
TEL.0774-23-3353

12 和歌山県有田市
～有田川の鶺鴒～
問合せ先 有田市産業振興課
TEL.0737-83-1111
※有田川の鶺鴒は、令和6年7月現在、休業中。



★ 茨城県日立市
～伊師海岸 ウミウ捕獲場～
問合せ先 日立市観光物産課
TEL.0294-22-3111 (内線406)

十王川での徒歩鶺鴒の実演

日立市内を流れる十王川では、昭和25年頃まで徒歩鶺鴒が行われていました。その後、長く途絶えていましたが、平成8年から毎年8月上旬に開催される「十王まつり」において、徒歩鶺鴒の実演が行われています。



1 十王物産センター鶺喜鶺喜

地元産の新鮮な農産物の販売を行う施設です。十王地区で生産されている幻の果物と言われる「ポポー」を使用した商品も販売しています。

営業時間 9:00～17:00
定休日 毎週火曜日
問合せ先 TEL.0294-39-3126



2 鶺のパラダイス観覧飼育舎

ウミウを間近に観察することができる飼育及び観覧施設です。観覧用として飼育しているウミウのほか、捕獲したウミウの一時保管施設としても活用しています。

問合せ先 日立市観光物産課
TEL.0294-22-3111 (内線406)
(平日のみ)

伊師浜国民休養地周辺マップ



★ ウミウ捕獲場(一般公開)

ウミウ捕獲が行われていない時期に、ウミウ捕獲場を無料で公開しています。捕獲場へ続くトンネル内では、各鶺鴒地の紹介を行っているほか、ウミウ捕獲者が案内人となり、直接ウミウ捕獲について話を聞くことができます。

公開期間 1～3月、7～9月(臨時休館する場合も有り)
公開時間 9:30～14:00
問合せ先 (一社) 日立市観光物産協会
TEL.0294-24-7978 (平日のみ)



3 国民宿舎鶺の岬

宿泊利用率が35年連続日本一(令和6年7月時点)の国民宿舎です。展望温泉風呂からは、太平洋を一望できます。宿泊だけでなく、レストランも併設されており、季節の美味しい料理をお楽しみいただけます。

問合せ先 TEL.0294-39-2202



4 鶺来来の湯十王

太平洋を一望できる露天風呂や大浴場のほか、リラクゼーションコーナー、レストランなど入浴後の楽しみも充実している日帰り温泉施設です。

営業時間 10月～6月 10:00～21:00(入館20:00まで)
7月～9月 10:00～21:30(入館20:30まで)
定休日 火曜日、12/31、1/1
問合せ先 TEL.0294-39-1126